

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

|        |       |
|--------|-------|
| 部(局)名  | 消防本部  |
| 部(局)長名 | 村上 博之 |

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

|        |             |
|--------|-------------|
| 重点課題 5 | 救急救命体制の充実強化 |
|--------|-------------|

全体の達成度

A

達成

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 目指すべき方向 | 救急救命体制の高度化や応急手当普及啓発を推進し、救命率の向上を図ります。 |
|---------|--------------------------------------|

| 活動目標   |
|--|
| 高度救命資機材の整備運用及び救急関連資格に伴う教育機関等への職員派遣を推進します。    |
| 一人でも多くの市民に救命講習を受講してもらえるように、応急手当普及啓発活動を展開します。 |



| 具体的な取組実績   |
|--|
| 各署所の受付や消防車両に積載するAED（計14台）のうち、11台を最新型に更新し、初期救命処置の強化を図りました。救急救命士研修（就業前及び再教育等）や、救急隊員教育（意識障害・脳卒中病院前救護、多数傷病者対応コース）も継続して参加させることで、救命処置レベルの維持を図りました。 |
| 平成27年における本市の救急講習の受講者は7,905名で、着実な普及啓発活動が展開されています。また、平成27年7月から応急手当WEB講習（e-ラーニング）を開始することで、普通救命講習会等の時間短縮が可能となり、受講機会拡大につながるよう努めています。              |



| 達成目標  |
|---|
| 医療機関との連携を強化して、救急隊員の資質の向上を図り、救命率の向上につなげます。       |
| 市民一人ひとりが、いざという時に必要な応急手当が実施できるよう、自主救護能力の向上を図ります。 |



| 達成状況   | 達成度     |
|--|---------|
| 全救急車と医療機関2施設をインターネットで結び実施しているモバイル・テレメディシン・システム（心電図伝送システム）の実施数が平成27年過去最高（127件）となる中で、救急隊員を対象とした症例検討会等も実施し、資質の向上につなげています。 | A<br>達成 |
| 市民の救命講習受講者を着実に増やし、AED設置施設場所をホームページ等で周知することで、居合わせた市民による救命処置が効果的に実施され、救命率向上につながるものと期待されます。                               | A<br>達成 |

## 総合評価・総括

部長マニフェストに基づく取組みが着実に実行されており、高度化する救急業務に対応できる救急救命士体制の確立に向け、今後も計画的な教育派遣等を継続させる必要があります。また、昨年は居合わせた市民による救命処置の実施率も過去最高（52.7%）を記録するなど、市民の救命処置に対する関心の高さが伺われることから、今後も着実に応急手当の普及啓発に努め、これまで以上に救命率の向上や、後遺症の軽減を図り、市民の信頼と期待に応えられるよう努めます。